

世界中の新鮮な果物と 野菜にふさわしい ワールドクラスの計量機

欧州最大規模のトロピカルフルーツと野菜の供給会社であるTFCロッテルダム社は、イシダの組合せ式自動計量機を入手して、日常的な包装業務と特別注文による突発的な大量需要に対応しています。

1989年に設立されたオランダを拠点とする同社は、農産物を最高の状態で、お客様に合わせて厳密にカスタマイズした包装およびラベル形式で提供しています。同社のお客様には、欧州最大の小売業者や卸売業者、さらにはケータリング業者が含まれます。

全世界でのマルチソースの手配により、同社は非常に珍しい農産物を1年中供給できるとともに、約2,000種類の農産物を扱うトロピカルフルーツと野菜の主要な供給業者へと成長を遂げました。

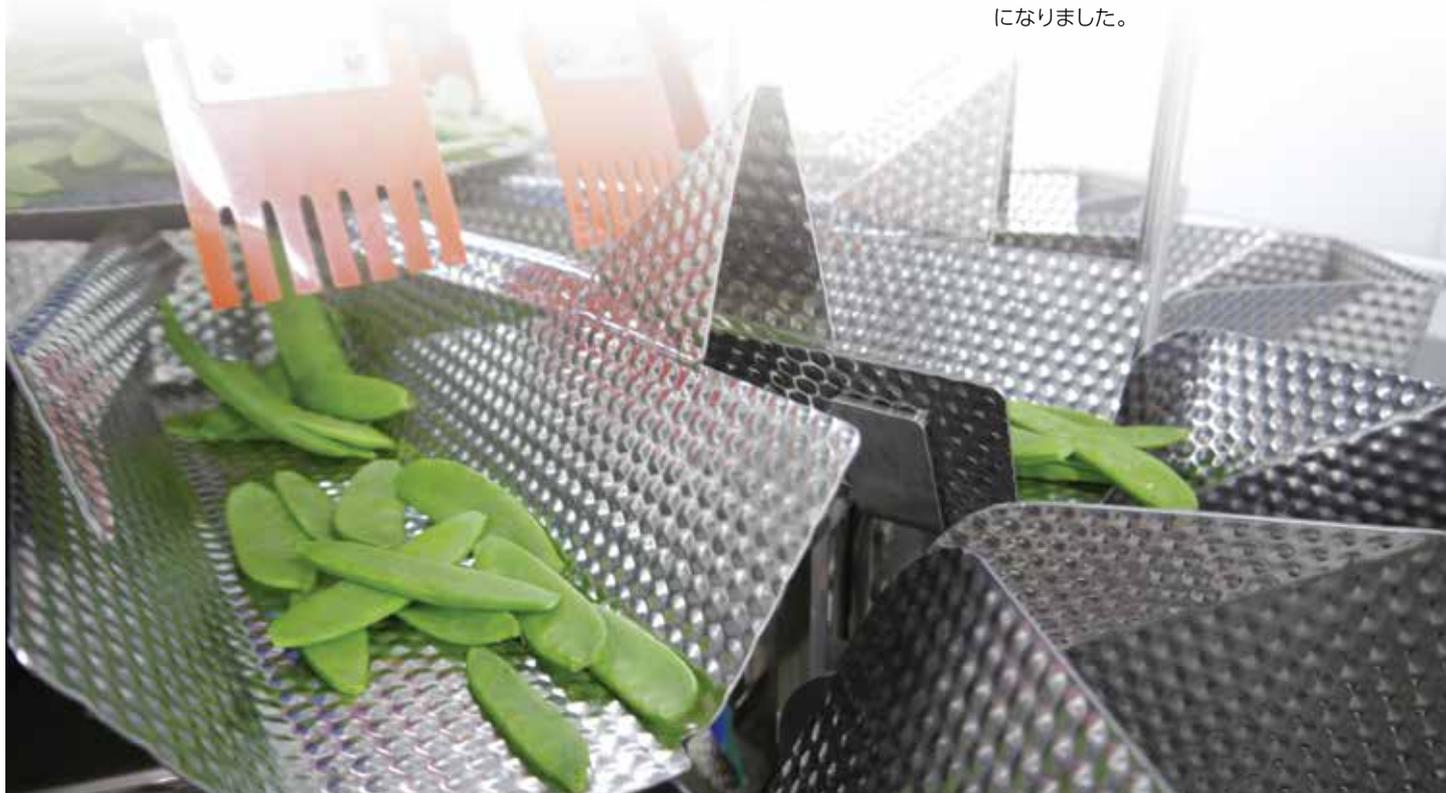
お客様のニーズに基づいた迅速な意思決定

スナップエンドウとサヤエンドウを200gと500gのピロー包装にしてほしいというお客様からの要望が、同社が行っているこの種の農産物の既存の包装方法の見直しへとつながりました。同社には組合せ式自動計量機の使用実績はありましたが、同じ農産物で発生する5%の無駄と、それらの機械の包装速度に不満を抱いていました。

最近、イシダの組合せ式自動計量機Rシリーズ

が発表され、速度と高精度の点ですぐに有名になりました。同社はカスタマーサービスにも特に力を入れているため、新しい製品構成を調査し、前向きな判断を下すのに時間はかかりませんでした。

イシダ計量機の多くは受注生産品で、特定の用途向けに特別に開発されますが、このケースでは幸いなことに、イシダにこの用途に適した14ヘッドモデルが在庫品としてありました。数週間以内に、同社は農産物を最高の状態かつ正確な形式で、必要に見合う数量で提供できるようになりました。



精度と速度

Rシリーズで、イシダはプログラム可能なゲートアレイベースの処理装置を開発したため、従来よりも多くの重量の組み合わせを5分の1の時間で計算可能となり、組合せ式自動計量機でより精度の高い選別をし、高速でもミスサイクルを減らすことができるようになりました。

同社の希望する毎分50~70パックの計量速度は、イシダの計量機の能力内で簡単に実現され、無駄が1.5%未満に削減されました。

平均重量よりも最小量の包装

同社はこうした特定のお客様に対し、最小量の包装を行っているため、重量超過の削減は特に重要です。

需要増への対応

イシダの新しい計量機は、ホオズキからコショウまで、その他さまざまな農産物にも使用されています。

生鮮食品では迅速な包装が常に重要ですが、特別注文が所定の厳しい時間内に小売業者の店舗に届くことも等しく重要です。そこで信頼性が重要な課題となり、ここでもイシダの選択を決定する要素となります。たとえば、週末に16万パックを製造するためには、新しい計量機が必要となります。

プロジェクト設計支援

包装用の農産物は、まず、スクリーニングコンベヤでチェックされます。次に、傾斜コンベヤを通じて計量機の最上部に運ばれ、計量、袋詰め、重量検査、ケースへの包装が行われます。ウェイトチェッカーは、イシダの市場をリードするDACS製品のもので、

新しいラインのスペースには制限があり、設置には天井レベルと独自のレイアウトへの変更が必要で、包装された農産物が送り込みコンベヤの下から直接出て行く必要がありました。イシダのプロジェクト設計チームは、お客様の要望に迅速に対応するという同社のニーズをサポートするため、ラインの設置と運用で重要な役割を果たしました。



株式会社イシダ

東京支社 東京都板橋区板橋1丁目52番1号 〒173-0004 TEL.(03)3964-4300(直)
大阪支店 大阪府吹田市江の木町26番20号 〒564-0053 TEL.(06)6310-9282(直)